

# 嗚呼薩南の一角に

自治会歌

## 1. 嗚呼薩南の一角に

薩南: 薩摩国の南 一角: 一つのっすみ

熱と誠の力もて

ほうおう よみが  
鳳凰は正に蘊る

鳳凰: 古代中国の想像上の瑞鳥

いざ立て若き健児らよ

赤き血潮の燃ゆるとき

あふ  
希望は溢るるわが大中(高)

## 2. われらは正義の大道を

大道: 人のふみ行なうべき正しい道

かつ たれ  
濶歩す誰をか恐れんや

濶歩: 大またに堂々と歩くこと  
(比喩的に) 堂々とした態度で  
思うままに行動すること

よううん  
妖雲世界に満てりとも

妖雲: あやしい雲、不吉を感じさせる雲

どとう  
怒濤は如何に高くとも

高き理想を見つめつつ

ばくしん  
驀進せよやわが友よ

驀進: まっしぐらに進むこと

## 3. 紅燃ゆる東雲に

昇る朝日のそれのごと

ふる ますらお  
奮い起ちたる丈夫の

丈夫: (益荒男) 勇ましく力の強い男  
勇気のある強い男子

あふ い  
熱球熱誠溢れ出で

ゆくて かかく  
行手に光明赫赫と

赫赫: 光り輝くさま、非常に明るくはげしく  
輝くようす。

われらが会は生まれたり

※元歌は第一高等学校(現東大教養学部(駒場))の寮歌  
「嗚呼玉杯に花うけて」である。